

授業科目 地球環境論

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護
鈴木和将		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 太陽系の惑星のひとつである地球で、約40億年前に生命が生まれ、40～50万年前に人類が誕生した。人類は地球の環境に少しずつ影響を与えながら進化してきたが、約200年前ころから多量の石炭・石油を使用し、大気や河川などを汚染し始めた。現在では、人類による環境汚染が原因で、オゾン層の破壊や地球温暖化が進行している。こうした汚染や、食料・木材などの生産に伴う自然破壊は、地球環境と同時に、多様な生命をも脅かしている。地球環境科学では、人類と地球との共生や生命を守ることを目標として、環境問題の歴史や現状、環境を守るための手法、さらに、地球環境と同時に人の健康にも大きなかわりを持つ食料・飲料水について学ぶ。					
【学習目標】 地球の構成と、生命（生態系）、環境のかかわりについて学ぶ 人類と環境、食料、飲料水について学ぶ 環境の現状について学ぶ 化学物質と環境・生命のかかわりについて学ぶ 地球環境問題について学ぶ 環境保全について学ぶ 環境監視について学ぶ					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	地球・生命・環境				講義
2	地球の構成と生命圏				講義
3	人間と環境・食料				講義
4	水と生命				講義
5	水環境と保全				講義
6	大気環境と保全				講義
7	土壌環境と生態系				講義
8	化学物質と安全管理				講義
9	化学物質のリスク評価				講義
10	環境ホルモン、POPsとダイオキシン				講義
11	地球温暖化				講義
12	オゾン層破壊と酸性雨				講義
13	廃棄物				講義
14	環境影響評価と環境負荷の低減				講義
15	低炭素社会				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		環境と生命	及川紀久雄ほか	三共出版	2004・2,625円
参考書		人間・環境・安全	及川紀久雄・北野大	共立出版	2005・2,520円
その他の資料					
【評価方法】 試験			【履修上の留意点】		